

ボクシング

専門委員長 高木 幸司



県総体は団体戦で吉野川が10連覇を果たし優勝する大会でした。

個人ではフライ級で真田、バンタム級寺尾、ライト級江崎（吉野川）が全国総体に望みましたが全員初戦で敗退しました。2年生の真田、寺尾はデビュー2戦目での全国大会でしたが堂々とした戦いで来年に繋がる大会でした。3年の江崎は僅差の判定で敗退しました。

また、改めて全国大会のレベルの高さに驚かされる大会でもありました。

年々選手の力が増ってきていて高校からボクシングを始める選手では入賞は愚か1回戦突破も難しくなっています。

最低でも中学からボクシングを始めないと全国では通

用しないと考えています。

吉野川高校では中学生1名が練習に参加していますが他に集まる気配がありません。高校では現在部活動として活動しているのは吉野川高校のみで、後はボクシングジムに通っている選手数名です。

全国的にも選手減少が進んでいますが特に徳島県は深刻な状況です。

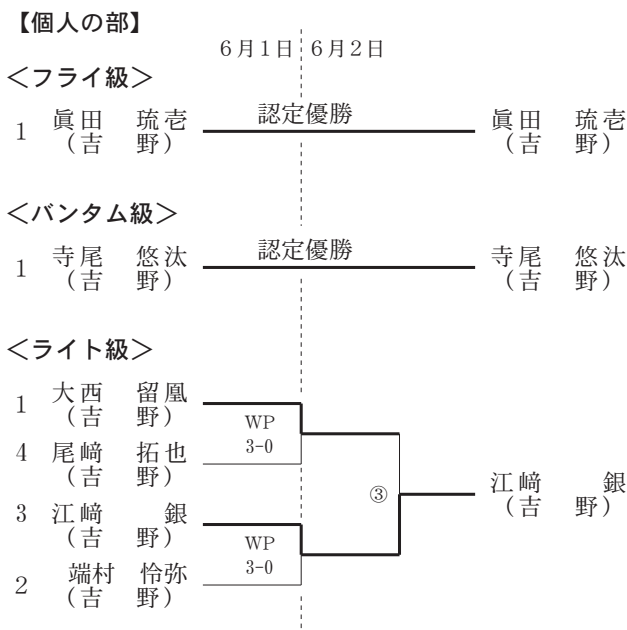
ここ数年、吉野川高校の選手同士の対戦が多く選手人口を増やしていくのも大きな課題だと考えています。

明るい兆しとして今年から徳島市内に吉野川高校ボクシング部の卒業生が会長兼トレーナーを務める徳島ボクシングジムが開設されました。このジムから選手が育ってくれば選手人口増とボクシング界も盛り上がると考えています。

選手の育成と並行して指導者、審判員の育成にも取り組んで行きたいと考えております。

吉野川高校、徳島県ボクシングの普及にこれからも尽力したいと思いますので、今後とも皆様のご指導並びにご支援を、よろしくお願いいたします。

◎第64回県高校総体 令6.6.1・2 於 吉野川高



【学校対抗の部】

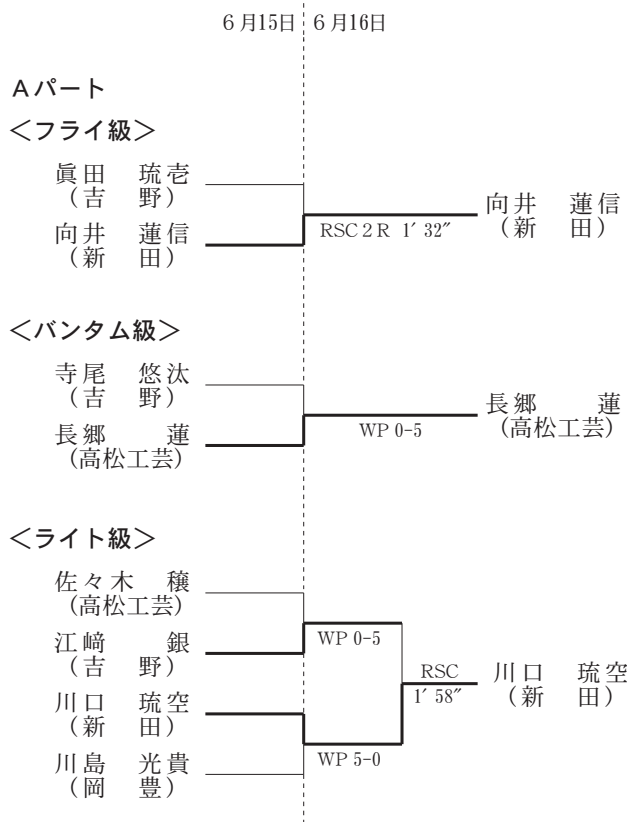
学校名	階級									合計	順位
	P	LF	F	B	L	LW	W	M			
1 吉野川			5	5	12					22	1

*勝ち点：1点、1位：5点、2位：3点、3位：1点とする。

*2位～4位は、競技規則による。

<団体優勝> 吉野川高校

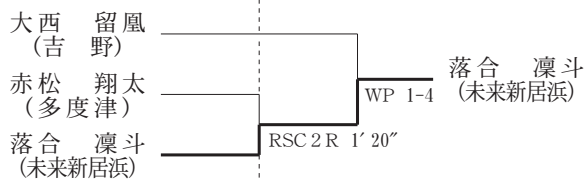
◎第30回四国高等学校選手権 令6.6.15・16 於 愛媛県 松山工業高



6月15日 6月16日

Bパート

<ライト級>



【学校対抗の部】

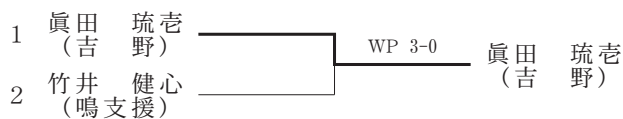
徳島	学校名	階級									合計	順位
		P	LF	F	B	L	LW	W	M			
	吉野川					4					4	4

第1位：5点、第2位：3点、勝ち点1点とする。

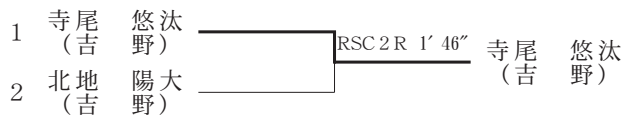
◎第29回徳島県高校新人大会 令6.11.16

於 吉野川高

<フライ級>



<バンタム級>



◎全国高校総体・第78回全国高校選手権

令6.8.7~13

於 佐賀県SAGAアリーナ

<フライ級>

2回戦

眞田 琉老 (吉野) 判定負け 小池 暁 (中京・岐阜)

<バンタム級>

1回戦

寺尾 悠汰 (吉野) 判定負け 筒井 颯人 (高志館・佐賀)

<ライト級>

1回戦

江崎 銀 (吉野) 判定負け 吉永 矜将 (宮古工・沖縄)



GONG!

徳島科学技術高校 2年 桑原 杏奈